



OrderPatent

B9

(19)



JAPANESE PATENT OFFICE

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11) Publication number: 60135167 A

(43) Date of publication of application: 18.07.1985

(51) Int. Cl. B24B 9/14

G02B 1/10

(21) Application number: 58248796

(22) Date of filing: 24.12.1983

(71) Applicant: NISHIKATA MASATO
KINOSHITA HIDEKI(72) Inventor: NISHIKATA MASATO
KINOSHITA HIDEKI

(54) SURFACE TREATMENT METHOD OF LENS

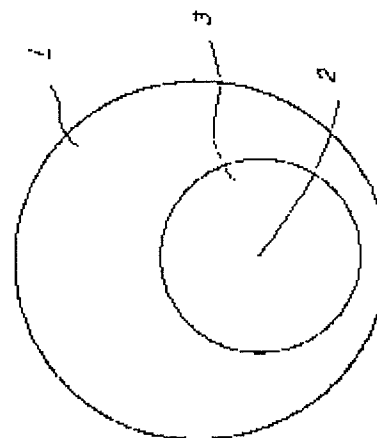
(57) Abstract:

PURPOSE: To allow a fitting sucker to a machine to be reliably fixed and protect the lens surface during machining by sticking a double coated adhesive tape on the surface of various unprocessed lens proper from the optical center.

CONSTITUTION: A tape 3 is stuck in the predetermined range of the surface of a lens proper 1 with its optical center set as a cardinal point, the tape 3 is coated with the adhesive agent on one face or both faces, and a transparent or opaque resin film, metal, cloth, etc. are used as the material. The stuck range is made larger than at least the area of the jig sucker adsorbing the lens proper 1. Accordingly, the surface of the lens proper 1 can be prevented from being damaged due to marks, rule lines, etc. marked at the optical center 2 of the lens proper 1 or around it, and also

the damage due to the sucker fitted to the optical center 2 while machining the outer diameter can be prevented. In addition, the lens proper 1 can be reliably held to a jig.

COPYRIGHT: (C)1985,JPO&Japio



⑩ 日本国特許庁(JP)

⑪ 特許出願公開

⑫ 公開特許公報(A)

昭60-135167

⑬ Int.Cl.⁴

識別記号

庁内整理番号

⑭ 公開 昭和60年(1985)7月18日

B 24 B 9/14
G 02 B 1/10

6902-3C
8106-2H

審査請求 未請求 発明の数 1 (全3頁)

⑮ 発明の名称 レンズの表面処理方法

⑯ 特 願 昭58-248796

⑰ 出 願 昭58(1983)12月24日

⑱ 発 明 者 西 方 正 人 鯖江市三六町1-1-28
⑱ 発 明 者 木 下 秀 樹 鯖江市西大井町31-1-10
⑲ 出 願 人 西 方 正 人 鯖江市三六町1-1-28
⑲ 出 願 人 木 下 秀 樹 鯖江市西大井町31-1-10
⑳ 代 理 人 弁理士 西山 聞一

明 細 書

1. 発明の名称

レンズの表面処理方法

2. 特許請求の範囲

- (1) 未成形の各種レンズ本体の表面に光学中心よりテープを貼着せしめる様にしたことを特徴とするレンズの表面処理方法。
- (2) 前記テープは両面に粘着剤が塗布されていることを特徴とする特許請求の範囲第1項記載のレンズの表面処理方法。

3. 発明の詳細な説明

本発明は未成形の各種レンズの表面を保護せしめる様にしたレンズの表面処理方法に関するものである。

一般に各種用途で使用される未成形のレンズは外形加工の際、光学的中心およびその周囲に所定のマークや罫線が印され、又加工後のレンズの表面に光学中心を基点として極体の先端に吸盤が取り付けられた治具にて吸着され、該治具と共に加工機内の所定位置に配置固

定されるものであるため、これらマーク等の印付、治具の吸着等によりレンズ表面を傷付ける恐れを有し、外形加工時におけるレンズの取扱い操作が甚だ面倒であった。

本発明はかかる欠点に鑑み、未成形の各種レンズ本体の表面に光学中心よりテープを貼着せしめる様にして上記欠点を解消せんとしたものであるとして、以下本発明の一実施例を図面に基づいて説明すると、

1はレンズ本体であり、該レンズ本体1は眼鏡用、カメラ用、顕微鏡用その他各種用途に使用されるものを対象とすると共に、単焦点レンズ、複焦点レンズ等の種類を問わず、又その材質はガラス、アクリル等の樹脂、その他未だの光学的レンズ全てを含む未成形レンズを対象としている。

そしてこのレンズ本体1の光学中心2を基点として表面所定範囲にテープ3を貼着せしめるのである。

貼着されるテープ3は片面若しくは両面に粘

溶剤を塗布せしめたものであり、その材質は透明若しくは半透明の樹脂フィルム、金属、布等適宜材質のものを使用している。

又テープ3の貼着範囲は少なくともレンズ本体1を吸着せしめる治具の吸着の面積より大なる範囲である。

要するに本発明は、米椀形の各種レンズ本体1の表面に光学中心2よりテープ3を貼着せしめることとしたので、レンズ本体1の光学中心2若しくはその周囲に用されるマーク、罫線等によるレンズ本体1表面の傷付きを防止出来、又レンズ本体1の外形加工時において加工本体1を固定固定せしめる際に光学中心2を基点としてレンズ本体1表面に取付けられる吸着による傷付きも防止出来、よってレンズ本体1の加工時における各工程にて光学中心2の周囲表面を保護せしめることによりレンズ本体1を完全に保護せしめることが出来、又テープ3を両面に貼着剤が塗布されたものを使用すれば吸着と吸着度を強力ならしめて治具に対するレンズ

本体1の保持を確実ならしめることが出来るがその実用的効果甚だ大なるものである。

4. 図面の簡単な説明

図は本発明の一実施例を示すものにして、レンズ本体にテープを貼着した状態の正面図である。

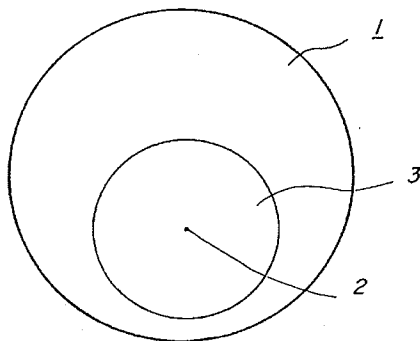
1 レンズ本体 2 光学中心 3 テープ
以 上

出 願 人 西 方 正 人
〃 木 下 秀 樹

代 理 人 弁 理 士 西 山 開 一



図



手続補正書

昭和59年4月25日

特許庁長官 若杉和夫殿

1. 事件の表示

昭和58年特許願第248796号

2. 発明の名称

レンズの表面処理方法

3. 補正をする者

事件との関係 出願人

住所

氏名 西 方 正 人 (他1名)

4. 代理人

住所 名古屋市千種区西坂町2-46

メゾン西坂1階

氏名 (7328) 弁理士 西 山 開 一



5. 補正命令の日付 自発

6. 補正により増加する発明の数

7. 補正の対象 明細書

8. 補正の内容 別紙の通り

手続補正書

昭和58年特許願第248796号

1. 上記出願に関し、明細書中第1頁第12行目を次の通り補正する。

「本発明は未整形の各種レンズの外形加工の際に加工機への装着用の吸盤を確実に吸着固定出来る様にすると共に、加工時におけるレンズ表面を保護せ」

2. 明細書中第3頁第9行目を次の通り補正する。

「める様にしたので、テープ3を基準として加工機への装着用の吸盤を定位置に確実に吸着せしめることが出来、又テープ3によりレンズ本体1の光学中心2」

以上

出願人 西 方 正 人

“ 木 下 秀 樹

代理人 弁理士 西 山 園 一

